

新入生の皆さん、本日は、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。  
また、ご列席のご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。

島根県立大学は、開学して12年が経とうとしています。この短い間に、この大学は、卒業生の就職率の高さや、「Good Practice(優れた取り組み)」と呼ばれる文科省の大学教育の向上のためのプログラムに採択された件数の多さなどから、全国でも有数の公立大学として発展して参りました。

皆さんは、これから本田学長の下で、この大学で学ばれ、社会人としての生活と生き方の準備をこの大学でなされるわけであります。

今、我々を取り巻く世界や社会に目を向けますと、大きな変化が起こっております。情報通信技術の爆発的な進化、グローバル化による国際競争の激化、新興国の急速な発展、世界的な資源の不足、地球の温暖化など、我々がこれまでに経験したことのないような巨大な変化が起こっているように感じます。

国内では、東日本大震災と福島原発の事故により、大変大きな被害を受けました。日本の安全対策は、抜本的な見直しを迫られています。

また、震災からの復興は、日本全体で担って行かなければならない重い課題となっています。

私たちは今、大きな転換期に生きています。この大きく変化する時代に、人も企業も、国も県も対応していかなければなりません。新入生の皆さんには、教養や専門的な知識を学ぶのに加えて、世の中の現実と変化を冷静に分析・評価する力、主体的に行動する力、そして生きる力を身に付けていただきたいと思っております。

さて、皆さんの中には、県外から来られた方も多くおられると思っております。島根には、豊かな自然や古き良き伝統・文化、歴史がよく残されており、そうした中に、温かい絆のある地域社会があります。このように大都市では失われつつあるものが数多く残っています。これらは島根の強みであります。

私どもはこうした島根の強みを活かしながら、島根らしい発展を目指しております。皆さんには、是非、在学中に島根をよくみていただき、地元の人々とも交流をされ、島根を好きになっていただければ、と思っております。

そして、皆さんには、この島根全体を、言わば皆さんのキャンパスにして、幅広くいろいろな活動にチャレンジして、自分の可能性を広げて欲しいと思っております。

それでは、今後、皆さんがこの浜田の地で、そして島根の地で生活を大いに楽しまれながら、勉学にいそまれることを祈念申し上げます、私からのお祝いの言葉といたします。  
本日は、誠におめでとうございます。